

地域が輝く子ども通信



子ども通信

この通信では、「子どもの権利」に関するさまざまな取組をお知らせします。

冬道のこころをまかせて！
「冬みちアドバイザー」

「冬みちアドバイザー」は、子どもに冬みちについての大切な知識を身につけてもらい、それを身近な人に伝え、広げてもらうため、平成25年度から豊平区土木センターが行っている取組です。土木センターによる2回の講座を受け終えることで、子どもたちが「冬みちアドバイザー」として、認定されます。

豊平区にある豊平小学校では、平成26年12月に6年生がこの講座に参加し、土木センターの職員から、雪がふる仕組みや除雪と排雪のちがい、除雪機械の種類などについて、クイズを交えて学びました。

また、平成27年1月には、同じ豊平区的美園小学校の6年生が講座に参加し、グループに分かれて、「スクールゾーン危険場所マップ」を作ったり、除雪についての市民からの電話対応の体験を行ったりしました。

講座では、「下校のときに砂をまいて帰るとい



は、「認定証」と記念品がわたされ、全員がアドバイザーとして認定されました。

「冬みちアドバイザー」になった子どもたちは、今後、紙しばいを使った「おうち講座」などを通して、家族や地域の人たちに冬みちの情報を伝え、広めていきます。

今年度は豊平区、東区、手稲区内の4つの小学校で講座が行われました。くわしくは、豊平区役所のホームページを見てください。



【豊平区のホームページ】

http://www.city.sapporo.jp/toyohira/public_works_center/gyoumu/snow/fuyumichiadobaiza-.html

「子ども計画」小・中学生 パブリコメ実施

札幌市では、子どもの権利を大切に、子どものすこやかな成長や発達を応援したり、子育て家庭をまち全体で応援するための計画「新・つぼろ子ども未来プラン」をつくります。

この計画は、子どもに関係するとても大切なものなので、多くの子どもたちからも意見を聞きたいと考え、平成27年1月から1か月間、パブリックコメント（パブリコメ）を行いました。パブリコメの実施には、大人用とは別に、小・中学生向けの資料をつくり、学校などを通して配りました。

現在、集計中のこのパブリコメでは、小学4年生から中学3年生まで、700名を超える子どもから意見をいただきました。主な意見をいくつかご紹介します。

- ・絵本で子どもの権利をPRするのは、子ども楽しんで理解でき、大人にも見てもらいやすい。
- ・はじめのない学校をつくるのはとてもいい考えなので、自分も協力してはじめのないクラス、学校にしたい。
- ・両親が働いていたり、近くに子どもをあずける施設のない会社に、ベビールームのよつなものをつくって、シッターなどをやったり、児童会館のように、気軽に集まれるところを多くする。

また、このパブリコメを行っている期間に、計画

をつくっている子ども未来局の職員が小・中学校を訪問し、子どもと意見交換を行う「出前授業」を行いました。

平成27年2月に西区にある山の手小学校で行った「出前授業」では、「子どもの権利を授業で習ったり、カルタやゲームなどで遊びながら学ぶことができる」と、子どもにも理解できる。などの意見が出ました。

札幌市では、これらの意見を参考に、計画をつくり、子どもにやさしいまちづくりを進めていきます。



計画をまとめた冊子や、パブリコメについての市役所の考えをまとめた冊子は、4月以降、学校などに送るので、ぜひご覧ください。



子どもにとって大切な権利
・安心して生きる
・自分らしく生きる
・豊かに育つ
・参加する

札幌市子ども未来局子どもの権利推進課
〒060-0051
札幌市中央区南1条東1丁目 大通バスセンタービル1号館3階
011(211)2942 FAX(211)2943
kodomokentri@city.sapporo.jp